

MS343-48004

GRリヤバンパースポイラー

取付・取扱要領書

この度はGRリヤバンパースポイラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

● 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは必ず車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品 番	塗装色	適合車種	備 考
MS343-48004	ツヤ消しブラック/ブラック<212>	ハリアー '20.6～	

・最新の適合情報はTRD カタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>
※本製品はスポーツマフラーと同時装着になります。

■ 構成部品

No.	品 名	個数	備考
①	リヤバンパースポイラー	1	
②	クリップナット	2	
③	タッピングスクリュー	2	5×17
④	ブラケット (RH/LH)	各1	
⑤	グロメット	2	
⑥	クリップA	2	
⑦	クリップB	4	
⑧	シム	2	t=1.0
⑨	ケーブルストラップ	2	
⑩	型紙	1	
⑪	PACプライマー	1	K-500
⑫	取付・取扱要領書	1	本書

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



取付上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

⚠ 警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。

⚠ 注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。



やってはいけないこと



必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がれますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図・・・・・・・・・・ 1
2. 取付上のご注意（取付作業の方へ）・・・・・・・・・・ 2
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図・・・・ 3
4. 取付準備、取付要領・・・・・・・・・・ 4～10
5. 取付完了後の点検・注意事項・・・・・・・・・・ 10

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具
- ・ 加工用工具（ハサミ・カッター等）・エアソー・ヤスリ・保護メガネ
- ・ 電動ドリル（刃：3.0mm/6.0mm/7.0mm/10.0mm）
- ・ 軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
- ・ ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 保証について

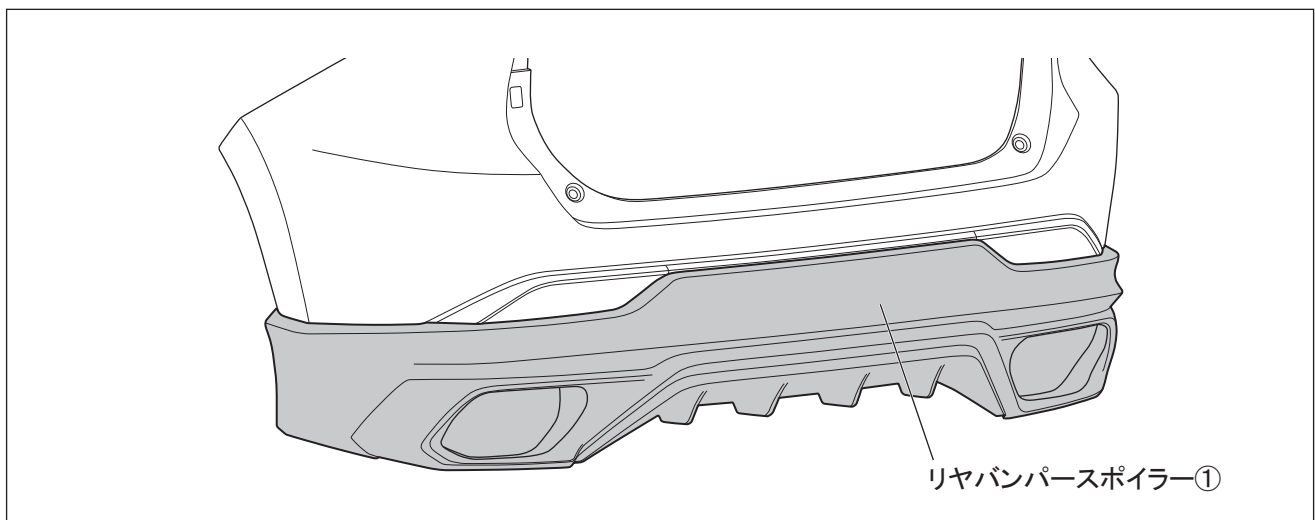
本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<https://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

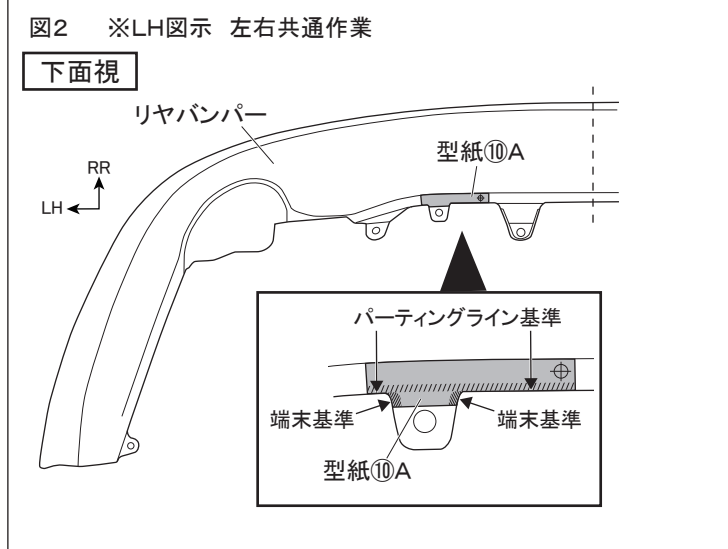
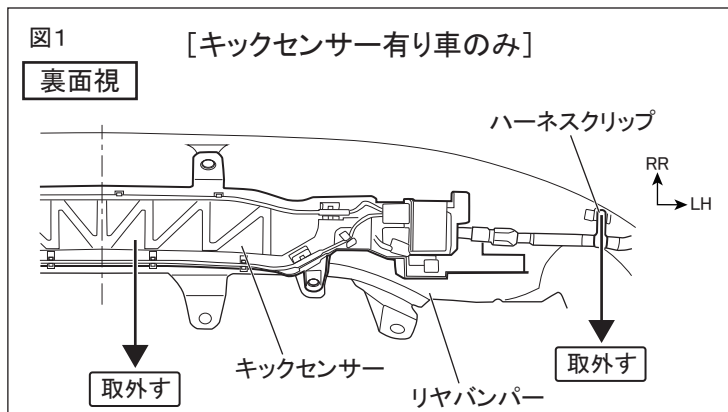


■ 取付準備、取付要領

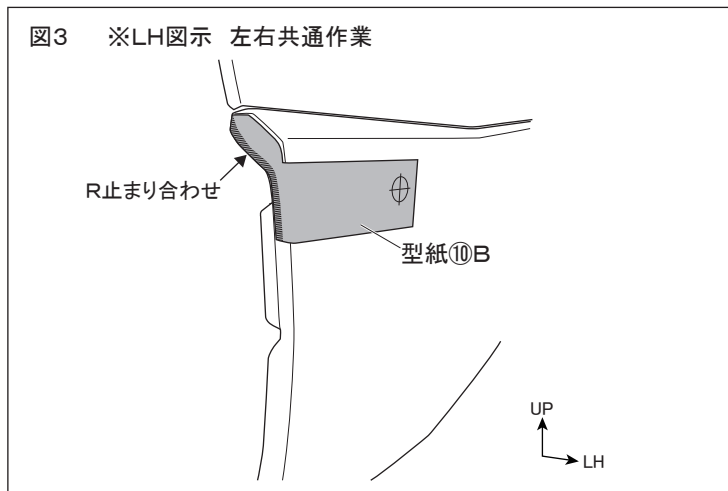
※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□リヤバンパースポイラー取付準備

1. 該当車両の修理書に従い、車両からリヤバンパーを取外す。
2. 図1のようにキックセンサー有り車のみリヤバンパーからキックセンサーとハーネスクリップを取外す。
取外し後、キックセンサーとハーネスを養生テープでリヤバンパーに固定する。

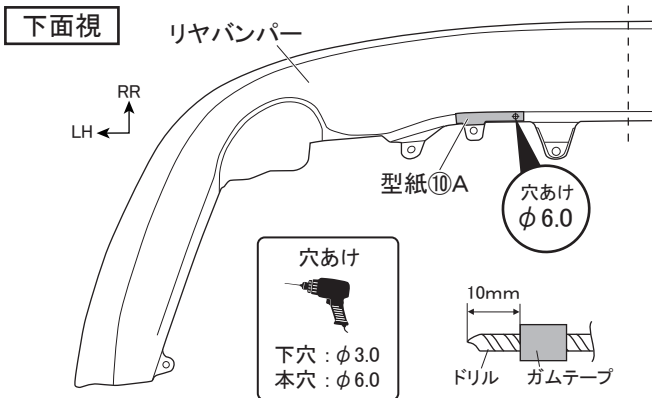


3. 図2のようにリヤバンパー下面に型紙⑩Aを貼付ける。（左右各1箇所）



4. 図3のようにリヤバンパーホイールハウス部側面に型紙⑩Bを貼付ける。（左右各1箇所）

図4 ※LH図示 左右共通作業

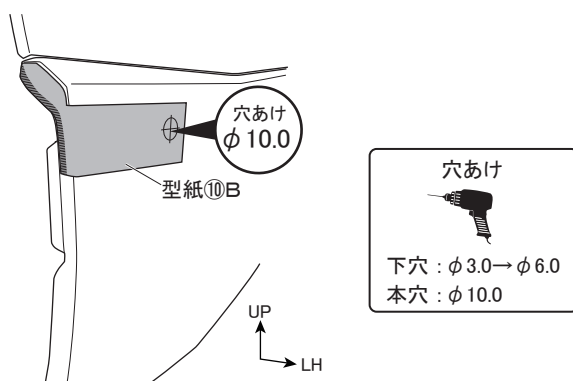


5. 図4のようにリアバンパー下面の型紙⑩Aの穴あけ位置に合わせて下穴をφ3.0であけ、φ6.0の本穴をあける。(左右各1箇所)
穴あけ後、型紙⑩Aを剥がし、穴周囲のバリを除去する。

⚠ 注意: 作業時は保護メガネを着用してください。

👉 アドバイス: 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

図5 ※LH図示 左右共通作業

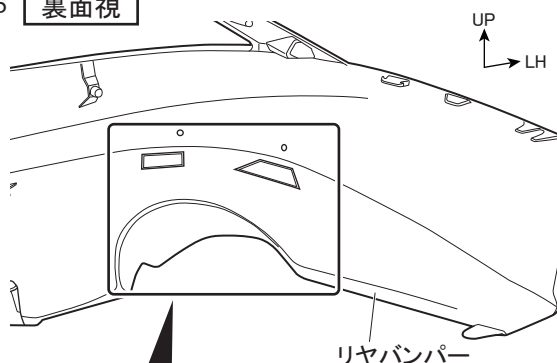


6. 図5のようにリアバンパー側面の型紙⑩Bの穴あけ位置に合わせて下穴をφ3.0→φ6.0の順であけ、φ10.0の本穴をあける。
(左右各1箇所)
穴あけ後、型紙⑩Bを剥がし、穴周囲のバリを除去する。

⚠ 注意: 作業時は保護メガネを着用してください。

👉 アドバイス: 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

図6 裏面視

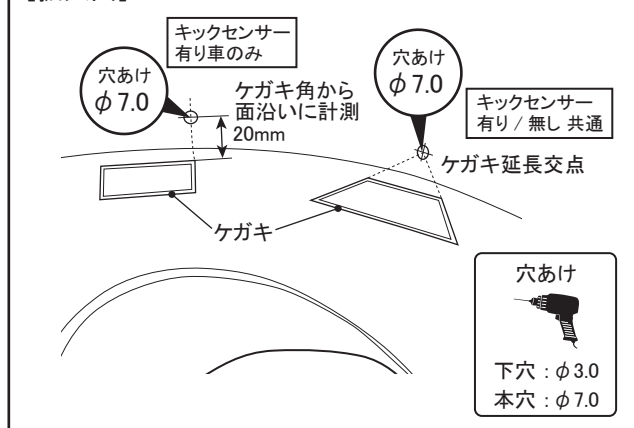


7. 図6のようにリアバンパー裏面LH側のケガキの外周を基準に下穴をφ3.0であけ、φ7.0の本穴をあける。
(キックセンサー有り車: LH側2箇所)
(キックセンサー無し車: LH側1箇所)
穴あけ後、穴周囲のバリを除去する。

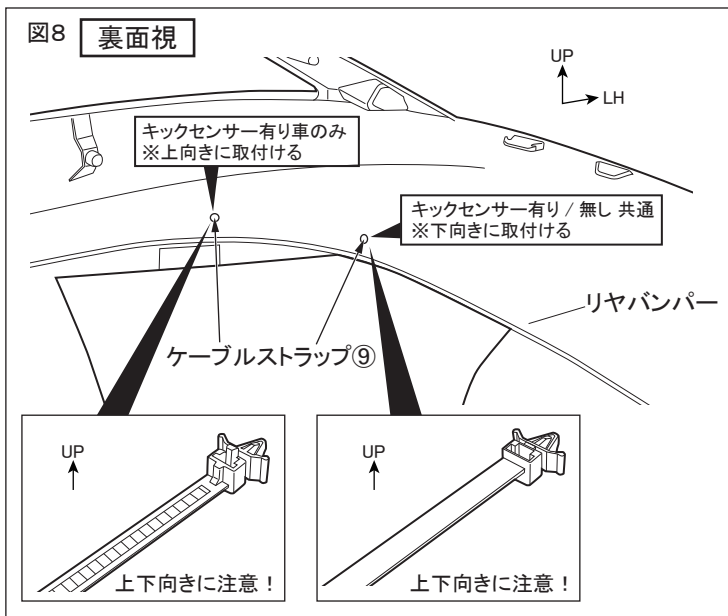
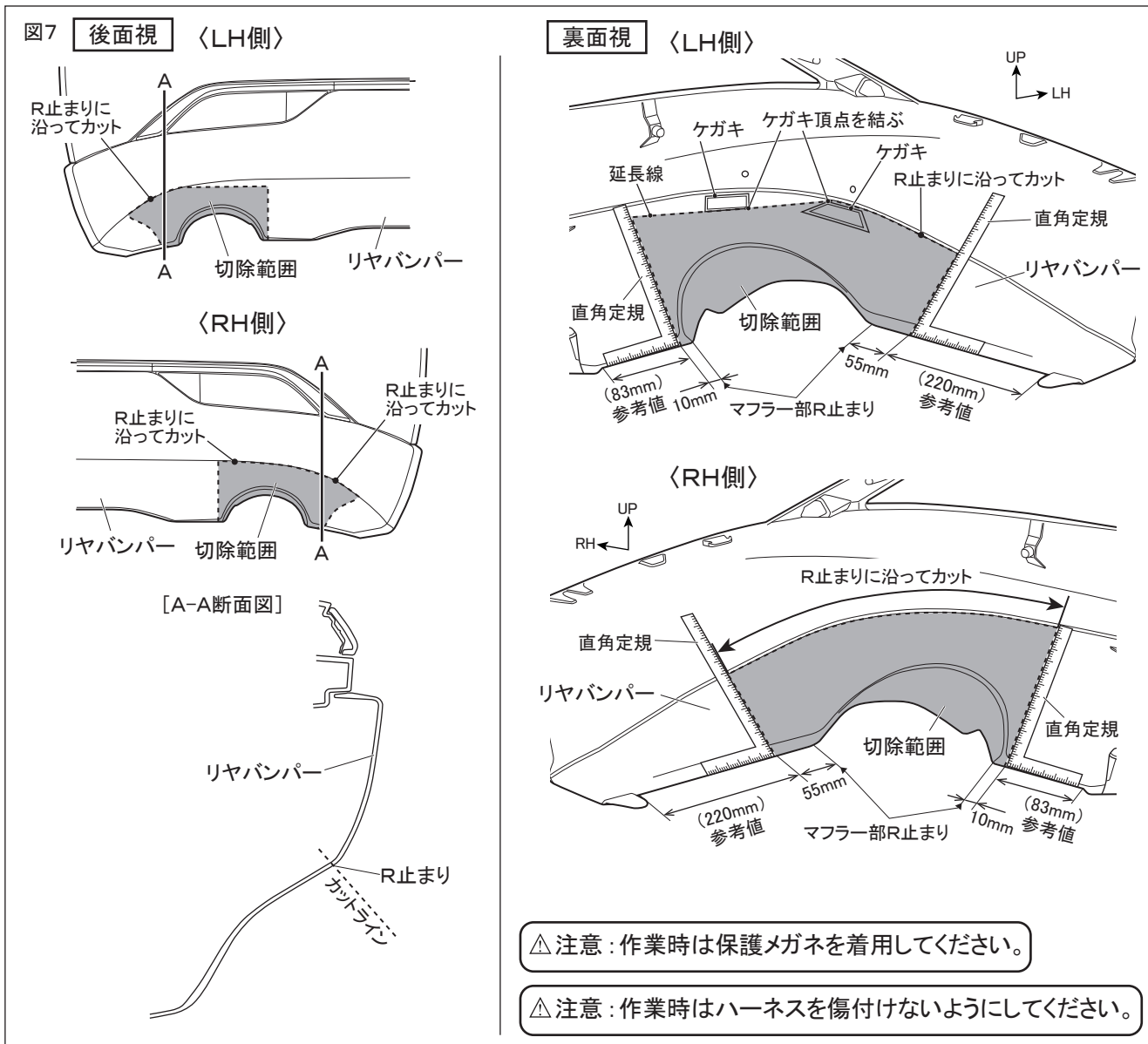
⚠ 注意: 作業時は保護メガネを着用してください。

👉 アドバイス: 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

[拡大図]



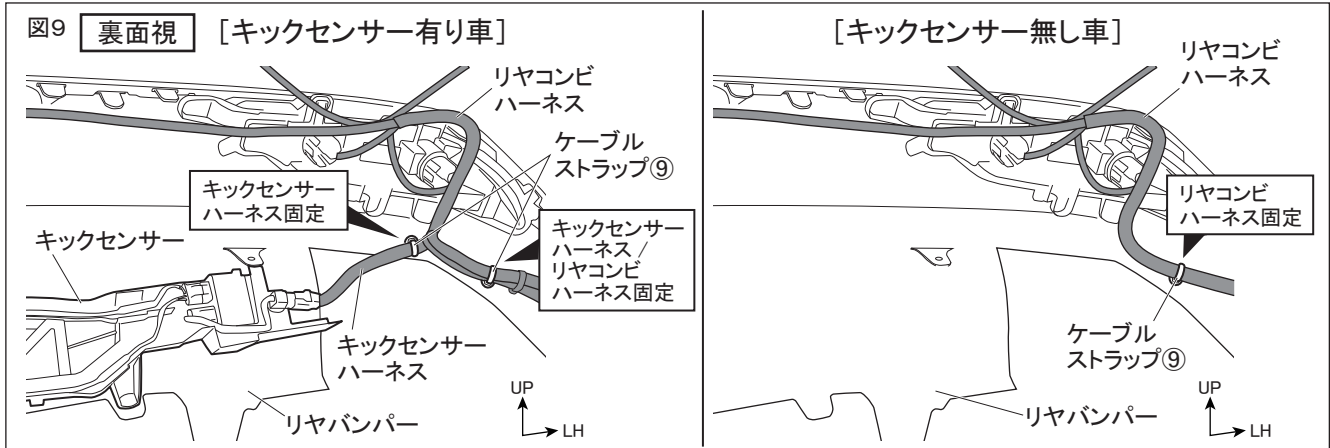
8. 図7のようにリヤバンパーの左右マフラー出口部を切除加工する。
加工後、切除部周囲および加工穴周囲のバリを除去する。



9. 図8のようにリヤバンパーにあげたφ7.0加工穴にケーブルストラップ⑨を取付ける。
(キックセンサー有り車：LH側2箇所)
(キックセンサー無し車：LH側1箇所)

10. 図9のようにキックセンサーとハーネスをリヤバンパーに復元する。その際にハーネスはケーブルストラップ⑨で固定し、ストラップの余長はカットする。

(キックセンサー有り車 : LH側2箇所) (キックセンサー無し車 : LH側1箇所)

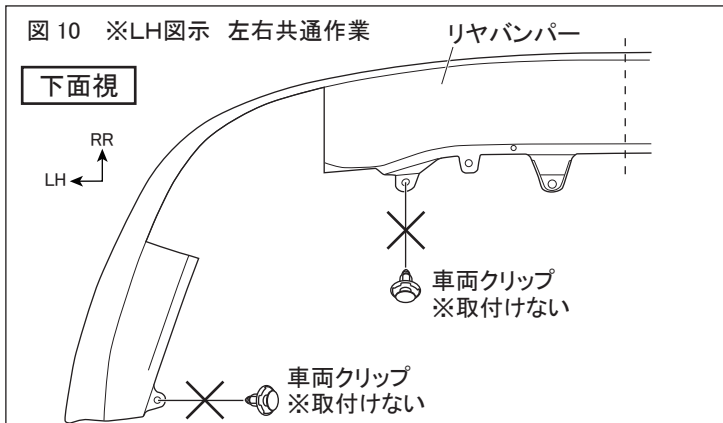


11. スポーツマフラー付属の取扱説明書を参照し、スポーツマフラーを取付ける。

12. 図10のように該当車両の修理書に従い、車両にリヤバンパーを復元する。
※その際に図示車両クリップは取付けないでください。

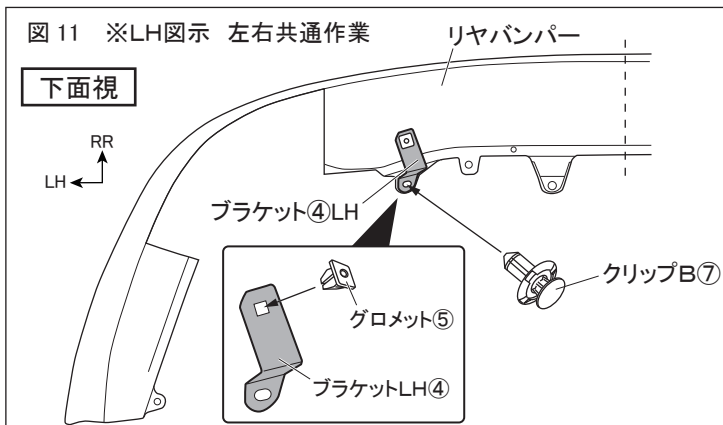
△注意 : 取外した車両クリップは再使用しません。

△注意 : ハーネスの噛み込みが無いか確認してください。



13. 図11のようにブラケット④にグロメット⑤を取付け、リヤバンパー下面にクリップB⑦で取付ける。(左右各1箇所)

△注意 : ブラケットには左右があります。左右向きに注意して取付けを行ってください。



14. 図12のようにリヤバンパーロアの素地部に合わせてマスキングテープを貼り付ける。

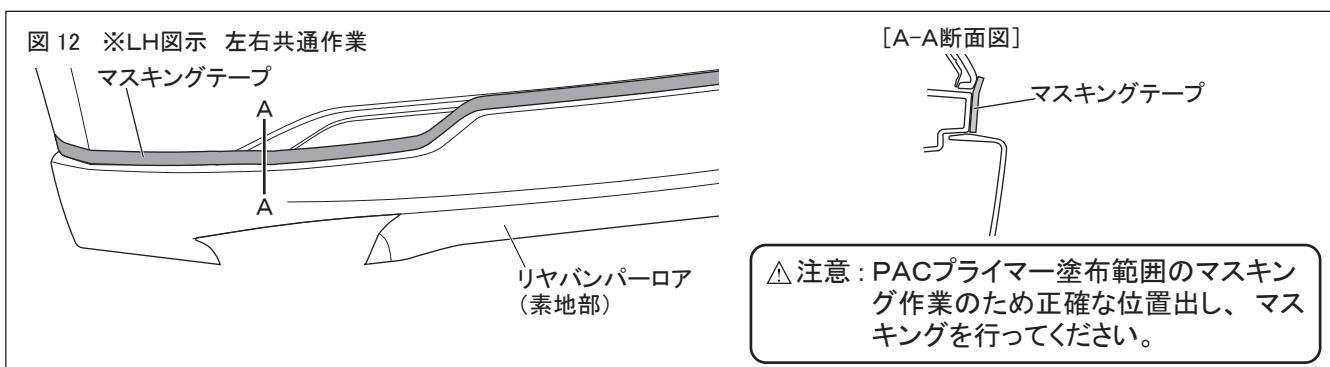
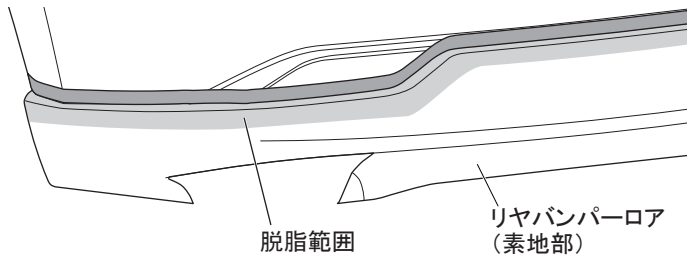


図 13 ※LH図示 左右共通作業

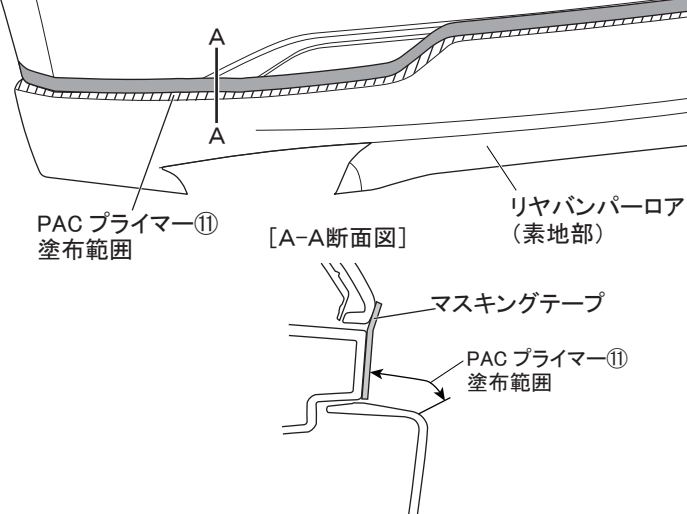


15. 図 13 のようにリアバンパースポイラー①の両面テープ貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで方向に拭いて脱脂する。

△ 注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図 14 ※LH図示 左右共通作業



16. 図 14 のようにリアバンパースポイラー①の両面テープ貼付け部（左図斜線部）にPACプライマー⑪を塗布する。

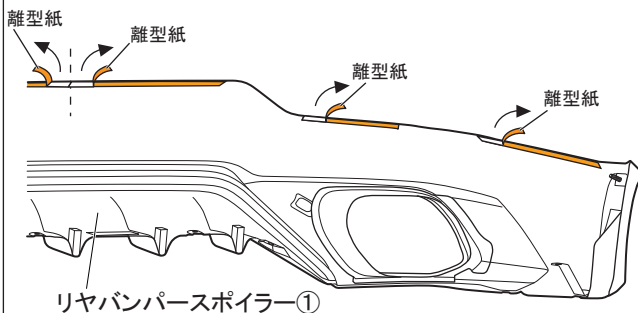
△ 注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

△ 注意：リアバンパーロア（素地部）の脱脂、プライマー塗布は十分に行ってください。脱脂、プライマー塗布が不十分な場合、両面テープが剥がれます。※別紙の脱脂要領を参照してください。

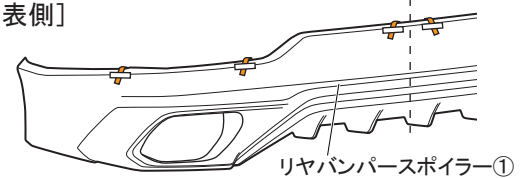
17. マスキングテープを剥がす。

18. 図 15 のようにリアバンパースポイラー①の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。（左右各3箇所）

図 15 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



[表側]



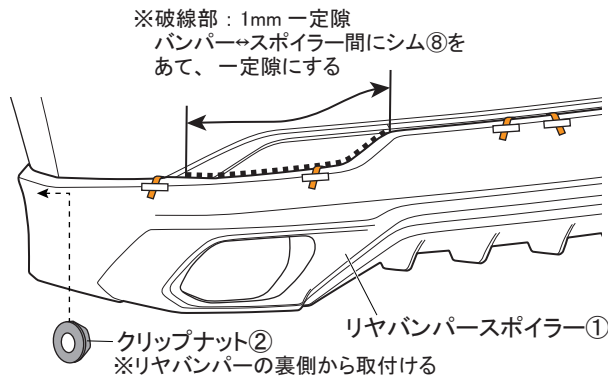
△ 注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

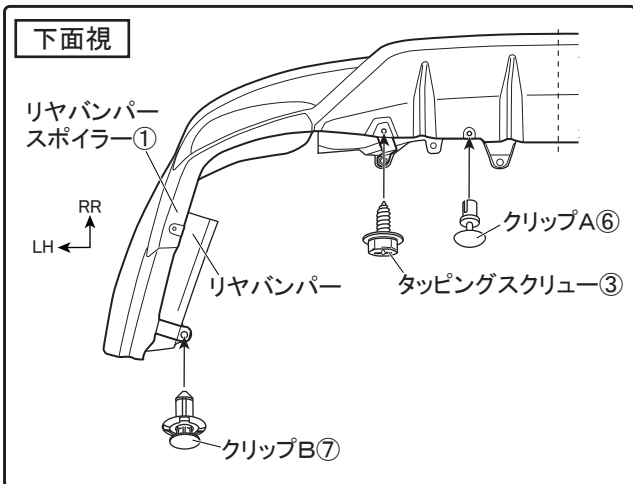
□リヤバンパースポイラー取付要領

- 図 16 のようにリヤバンパースポイラー①をあて、シム⑧をリヤサイドスポイラー①とリヤバンパー図示部（破線部）との隙間に入れて取付け位置を一定隙（1mm）にして取付け位置を決め、側面をクリップナット②（左右各1箇所）、下面をクリップA⑥（左右各1箇所）、クリップB⑦（左右各1箇所）、タッピングスクリュー③（左右各1箇所）で仮締める。

図 16 ※LH図示 左右共通作業

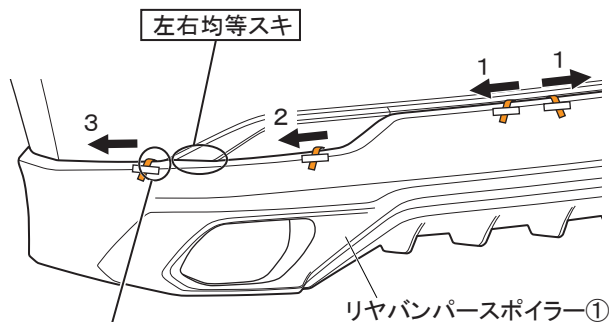


△注意：製品取付時、車両へのキズ付きに注意してください。

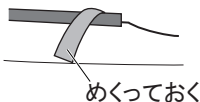


- 図 17 のように取付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。（左右各3箇所）

図 17 ※LH図示 左右共通作業



- ・離型紙をめくるときにモール端がめくれないように注意してください。
- ・モール部分はめくりながら貼り付けてください。

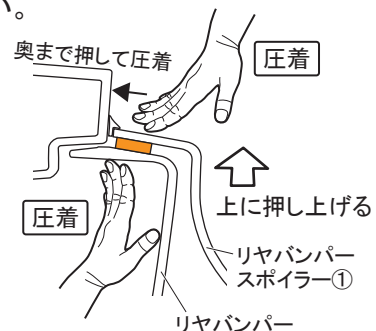


△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

👉 アドバイス：バンパー方向に押し付けながらスキが出来ない様に貼り付けてください。

■ 重要 ■

圧着の際は、リヤバンパー裏側に手を入れて表裏双方からテープ位置をしっかりと圧着してください。



※製品を上を押し上げながら奥まで押して圧着する



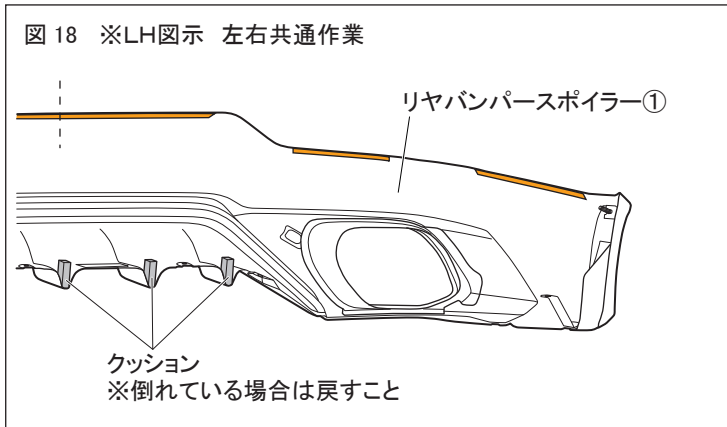
アドバイス 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。



警告

両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

3. リヤバンパー側面のクリップナット②、下面のタッピングスクリュー③を本締めする。



4. 図 18 のようにリヤバンパースポイラー①下面のクッションが倒れている場合は、手で戻す。

■取付完了後の点検・注意事項

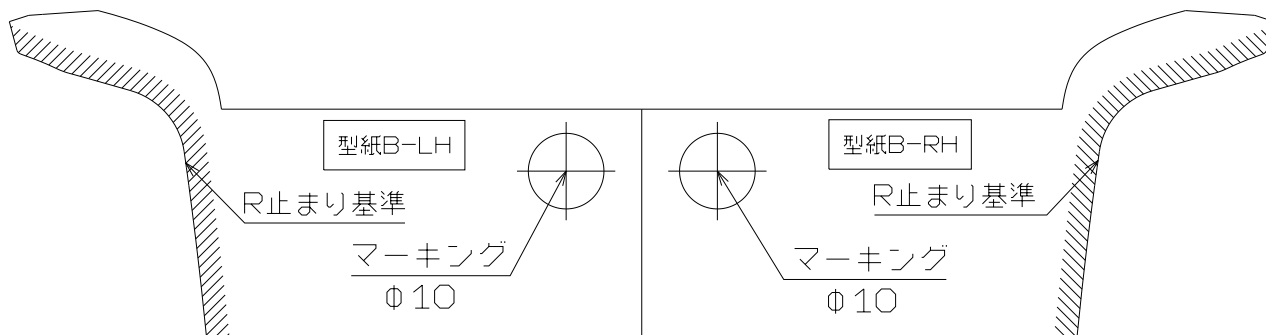
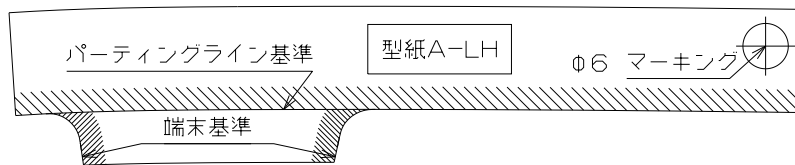
1. 製品全周にわたり、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びリヤバンパースポイラー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

TRD商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-2121

<https://www.trdparts.jp/>



73-MS343-48004-A00



MS153-48010/11

GRスポーツマフラー

取付・取扱要領書

この度はGRスポーツマフラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品 番	車 種	型 式	年 式	備 考
MS153-48010	ハリアー	AXUH8#	' 20. 06～	ハイブリッド車
MS153-48011	ハリアー	MXUA8#	' 20. 06～	ガソリン車

- ※ 開封時に必ず構成部品が揃っていること、及び外観のキズ、凹み等が無いことを確認してください。
取付け後の不具合が判明しましても対応しかねる場合がございます。
- ※ 本製品はGRリヤバンパースポイラーと同時装着になります。取付け前にGRリヤバンパースポイラーの
取付要領書を必ずお読みください。
- ・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>

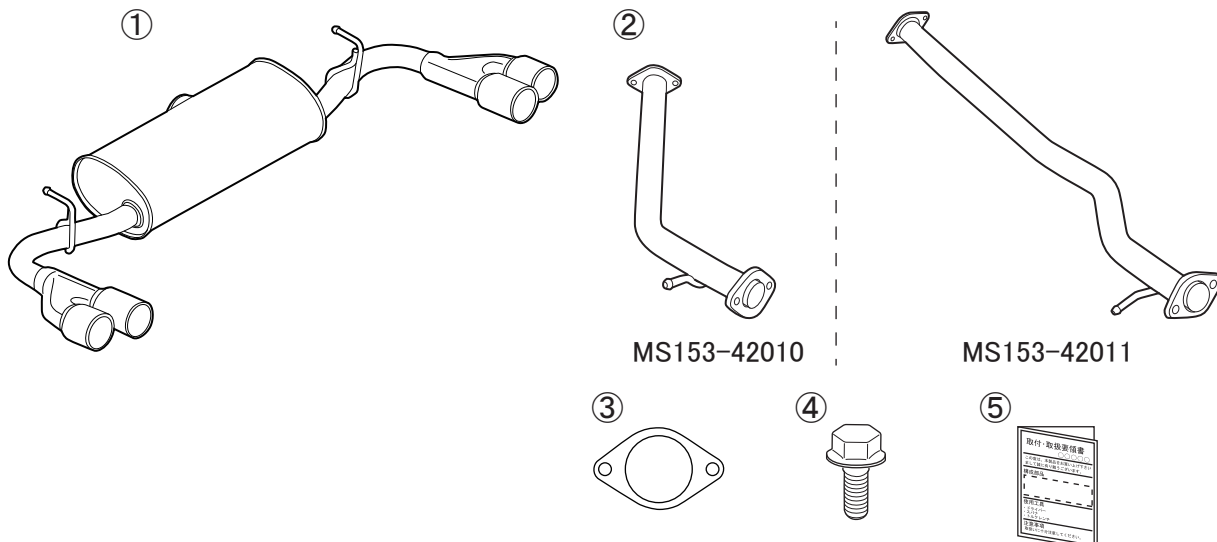
■ 構成部品

No.	品 名	個数	備 考
①	テールパイプ	1	
②	エキゾーストパイプ	1	
③	ガスケット	1	MS154-00H02
④	フランジボルト	2	M10×20
⑤	取付・取扱要領書	1	本書

※純正ガスケット(17451-25040 ハイブリッド車 / ガソリン車 共通品)は同梱されていません。
別途、購入いただき必ず新品に交換して下さい。

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認して下さい。

■ 構成部品図



取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

- (1) 本商品は「道路運送車両法の保安基準」を満たしていますので、一般公道でも安心してご使用頂ける保安基準適合マフラーです。但し、マフラー以外の改造を行っている場合、又は使用状況等によってはその限りではない場合もありますのでご了承下さい。TRD製品以外のエアロパーツとは同時装着が出来ない場合がありますのでご承知おきください。
- (2) 保安基準適合の為、取付けは純正と同様、触媒やシールド等を取外さず、必ず上記適合車種に取付けてください。

⚠ 警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。

⚠ 注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⚠ 警告

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行っていただくこと

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ⊘ 本商品の分解・加工は絶対しないで下さい。破損や事故の原因となる場合があります。
- ⊘ 取付け作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行なってください。車両が予期せずに動き、体を挟むなどの重度な事故の原因となります。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。
- ❗ 車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高90mm**(注1)を確保して下さい。
(注1: 車両のホイールベース、オーバーハングの値によって変わる場合があります)
- ❗ 車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合、路面との干渉にご注意ください。

⚠ 注意

- ❗ 本商品の交換、取付け作業は必ず設備の整った専門の整備工場で行って下さい。
- ❗ 交換の際は、必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。
- ❗ 取付け作業は、必ずエンジンが冷えていることを確認してください。エンジンルーム、マフラーが熱いとヤケドをする恐れがあります。
- ❗ 取付け後、本商品と他の部品との干渉を確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
- ❗ 本商品装着後に、衝突などの強い衝撃を受けた場合は直ちにご使用を中止してください。取付け部分や本体に変形や破損、故障が生じる場合があります。必ず、整備工場にて点検を受けてください。
- ❗ 本商品取付け後、走行中に異常な振動や異音を感じたら直ちに安全な場所に停車してください。そのまま走行を続けると、重大な事故や破損の原因となる場合があります。整備工場にて点検を受けてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。
- 不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ至急ご連絡をお願いいたします。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 1
2. 取付上のご注意（取付作業の方へ） 2
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図 . . . 3
4. 取付要領 4～5
5. 締付けトルク一覧表、取付完了後の点検・注意事項 5

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具・トルクレンチ・保護メガネ
- ・ 軍手・保護シート

■ 保証について

本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

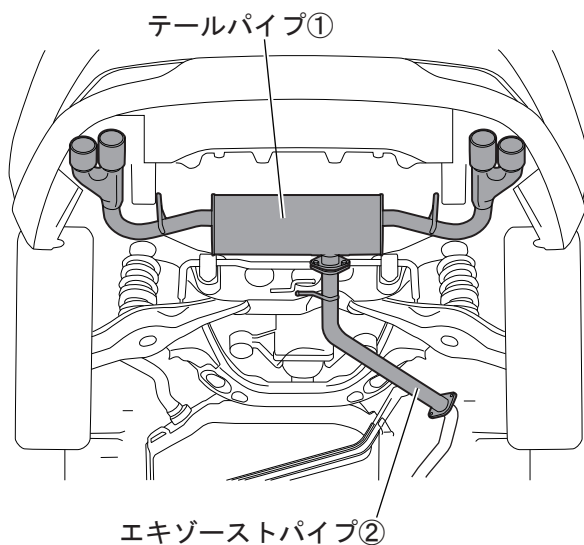
（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<https://www.trdparts.jp/>>

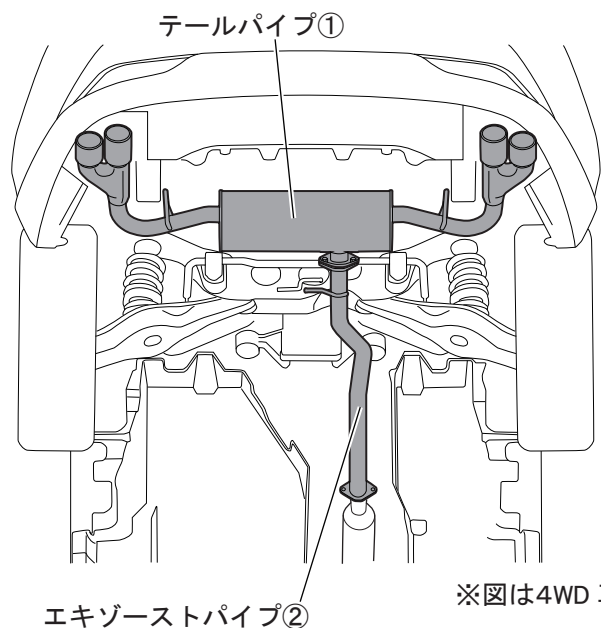
「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

【MS153-48010 ハイブリッド車】



【MS153-48011 ガソリン車】



■ 仕様（SUS材）

品番	テールパイプ①：パイプ径	エキゾーストパイプ②：パイプ径	出口バッフル部
MS153-48010	φ50.8	φ50.8	φ85.0（デュアル）
MS153-48011	φ50.8	φ50.8	φ85.0（デュアル）

■ 取付要領

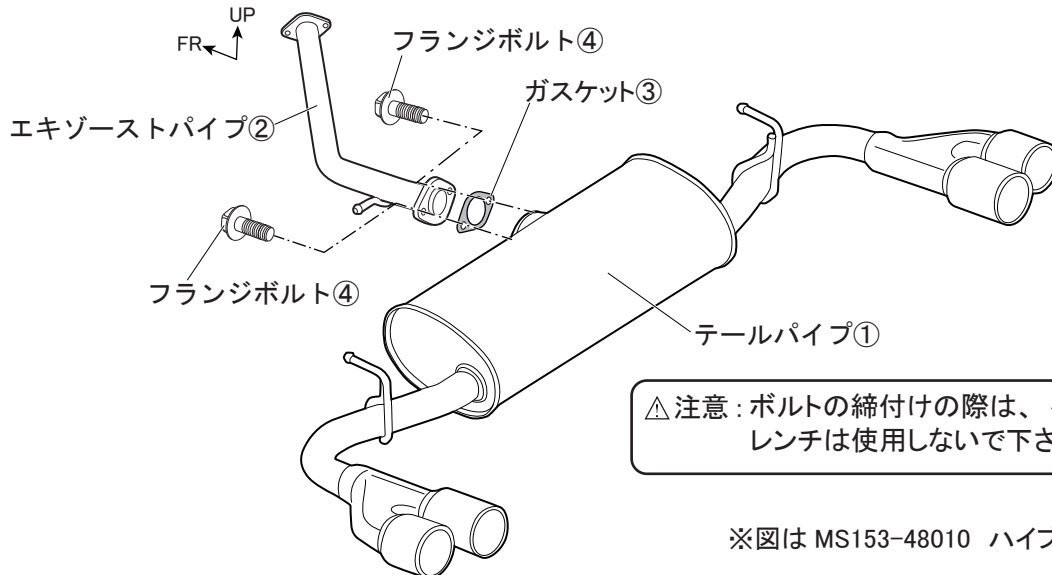
1. 該当車両の修理書に従い、車両から純正のテールパイプを取外す。

👉 **アドバイス：**取外した部品締結ボルト類、サポートゴムは、再使用しますので破損や紛失がないよう十分に注意して保管してください。

⚠ **注意：**車両部品を取外す際は、周囲の板金エッジ部や他部品で怪我をしないように注意してください。

2. 図1のようにテールパイプ①とエキゾーストパイプ②をガスケット③を介してフランジボルト④で仮締めする。

図1

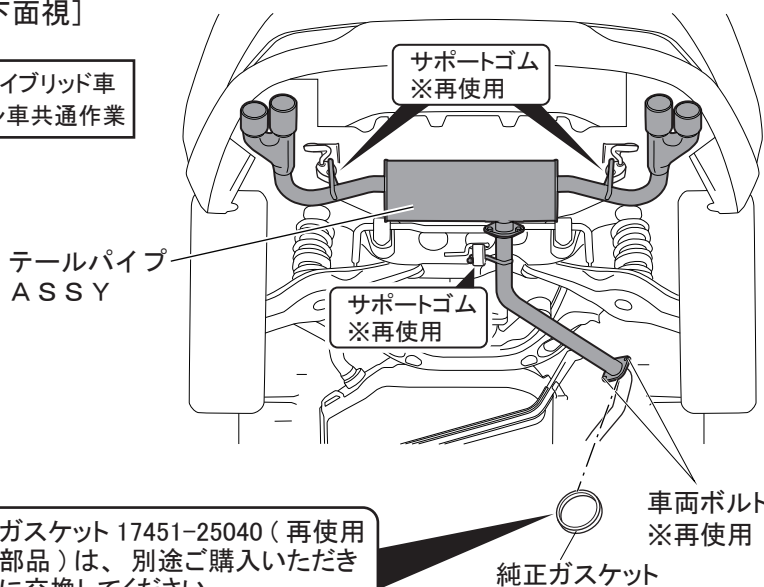


※図は MS153-48010 ハイブリッド車用

3. 図2のようにテールパイプASSYを車両ボルトおよびサポートゴムを再使用して仮固定する。

図2 [下面視]

※図はハイブリッド車
ガソリン車共通作業



※純正ガスケット 17451-25040 (再使用不可部品)は、別途ご購入いただき新品に交換してください。

⚠ **注意：**ボルトの締め付けの際は、インパクトレンチは使用しないで下さい。

⚠ **注意：**作業時に車両のエッジ部等で怪我をしないよう、注意してください。

⚠ **注意：**エキゾーストパイプ②と車両エキゾーストパイプ連結部のガスケットは、必ず新品の純正ガスケット (17451-25040) に交換してください。

⚠ **警告：**テールパイプ脱着時にサポートゴムなどに潤滑剤等を使用した場合、確実に清掃を行い油脂分を除去して下さい。
油脂分が残っていた場合、走行中に外れるなどの重大な事故の原因になります。

4. 図3のように各部の干渉、取付け位置やガタつき等を確認し、仮締めした車両ボルト、フランジボルト④を指定トルクで本締めする。

図3 〔下面視〕

※図はハイブリッド車
ガソリン車共通作業

テールパイプ
A S S Y

フランジボルト④
締め付けトルク：29.0N・m

車両ボルト
締め付けトルク：43.0N・m

⚠ 注意：作業時に車両のエッジ部等で怪我をしないよう、注意してください。

⚠ 注意：マフラー出口部の高さが左右同等になるよう、調整してください。

■締め付けトルク一覧表

取付部位	構成部品 No.	締め付けトルク	
テールパイプ①×エキゾーストパイプ②締結部	フランジボルト④ (M10×20)	29.0N・m	☐
エキゾーストパイプ②×車両フロントパイプ締結部	車両ボルト	43.0N・m	☐

■取付完了後の点検・注意事項

1. 取付け後数キロの走行を行い、各部に干渉が無いこと、異音等がないことを確認してください。
2. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。
3. 装着後は、定期的（定期点検時等）に取付け部に緩みなどが無いことを点検してください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
<https://www.trdparts.jp/>